

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果

京都市立桂川中学校

4月19日に、本校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとめました。本調査は、国語、数学、理科の3教科のテストと同時に、家庭生活、学校生活に関する調査も実施されています。生活習慣や学習の様子など、本校の生徒たちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・数学・理科）

国語、数学、理科ともに全国平均および京都府平均より少し高めまたは同程度の結果でした。国語においては「自分の考えを記述する問題」「読解による解釈の問題」で、数学においては「自分の考えを記述する問題」「問題解決の方法を数学的に表現する問題」で、理科においては「記述式の問題」や「行った考察を改善できるかを見る問題」で全国平均より高い正答率を示しています。一方、正答率が低かった項目として、国語では「技法や文法漢字の書き取りなどの知識・技能の問題」、数学では「図形や予想した事柄を表現する問題」、理科では「事象を分析して解釈する問題」が挙げられました。また、特に数学では全国平均よりも無回答率が低い問題が多くみられ、難易度に関わらずどの問題にも前向きに取り組める生徒が多い様子も見受けられました。

国語科より

(全国平均と比べて)

- | | |
|---------------------------------|--------|
| ○自分の考えがわかりやすく相手に伝わるように表現を工夫して話す | + 5. 0 |
| ○自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書く | + 3. 2 |
| ○表現の技法について理解する | - 7. 1 |
| ○文脈に即して漢字を正しく書く | - 2. 9 |

本校の特徴としては、自分の考えが伝わる文章を書くことにおいて強みが見られます。また、どの領域の問題に対しても全国平均を下回るものが少ないです。一方で、比喩などの表現技法に対する問題だけが大きく平均値を下回っています。また、漢字の書き取り問題も二問出題がありましたが、二問とも全国平均を下回る結果になってしまい、言語に対する知識を身につけさせる必要があります。今後、授業においては新出漢字の学習だけでなく小学校で学習した漢字の復習にも力を入れ、社会に出たときに困らないような知識を身につけさせたいと考えています。

数学科より

(全国平均と比べて)

- | | |
|---|--------|
| ○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。 | + 8. 3 |
| ○自然数を、素数の積で表すことができる。 | + 6. 0 |
| ○箱ひげ図の分布から特徴を読みとることができる。 | - 7. 7 |
| ○結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見いだし、説明することができる。 | - 5. 0 |

事象を数学的に解釈し数学的に説明することや、図形の証明から筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明すること、及び計算分野の問題はよく理解できています。一方、新たな事柄を見いだし説明する問題や、箱ひげ図の特徴を見いだす問題においては、苦手意識があるようです。図形分野の理解を深めるために、タブレットなど視覚的に理解の手助けとなるもの等を利用していきたいと考えています。

理科より

(全国平均と比べて)

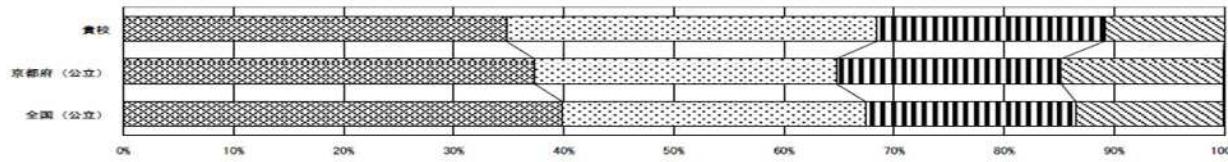
- 液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する +6.7
- 上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する +4.3
- 水素を燃料として使うしくみの例の水の質量の変化について、適切なものを選択する -6.1
- 生物 X が昆虫類かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断する -4.8

領域別では「粒子」「生命」を柱とする領域で正答率が高いです。無解答率では全国平均とほぼ同程度ですが、観察や実験結果の記録や整理、資料の活用の仕方をより身に付けて無解答率が低くなるように取り組んでいきたいと考えております。

生徒質問紙から①

質問番号	(9)	質問事項											
		将来の夢や目標を持っていますか	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
	選択肢		1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
	貴校	34.8	33.7	20.7	10.9							0.0	0.0
	京都府（公立）	37.3	27.4	20.4	14.7							0.0	0.1
	全国（公立）	39.8	27.5	19.1	13.4							0.0	0.1

1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない その他 無回答

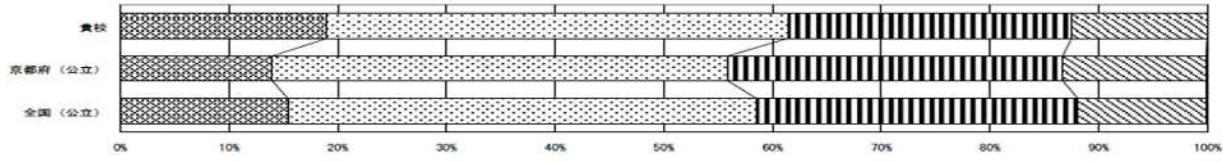


「将来の夢や目標を持っていますか。」という質問に対し「当てはまる」と答える生徒の割合は全国と比べて低いですが、「どちらかといえば当てはまる」を合わせると全国よりも高くなり、この学年の生徒は将来への展望を抱いている割合が高いことがわかります。それが前向きな学習態度にも表れていると言えます。

生徒質問紙から②

質問番号	(20)	質問事項											
		家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
	選択肢		1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
	貴校	19.0	42.4	26.1	12.5							0.0	0.0
	京都府（公立）	14.0	41.9	30.8	13.2							0.0	0.1
	全国（公立）	15.4	43.1	29.6	11.8							0.0	0.1

1. よくしている 2. ときどきしている 3. あまりしていない 4. 全くしていない その他 無回答

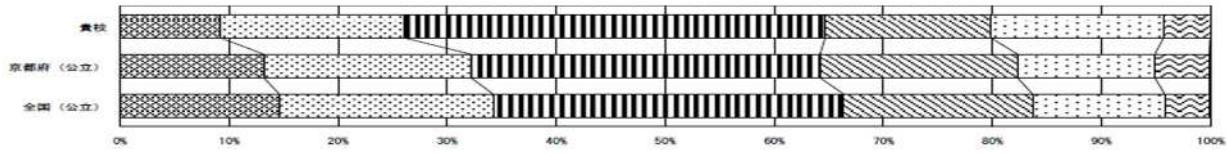


「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」という質問に対し「よくしている」と答えた生徒の割合が全国平均より 3.6 ポイント高く、スケジュール管理能力が育っている生徒が多いことがわかります。

生徒質問紙から③

質問番号	質問事項										
(24)	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか（一般的雑誌、新聞、教科書は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	9.2	16.8	38.6	15.2	15.8	4.3				0.0	0.0
京都府（公立）	13.2	19.0	32.0	18.1	12.6	5.0				0.0	0.1
全国（公立）	14.6	19.6	32.1	17.3	12.1	4.1				0.0	0.1

□1. 0～10冊 □2. 11～25冊 □3. 26～100冊 □4. 101～200冊 □5. 201～500冊 □6. 501冊以上 □その他 □無回答

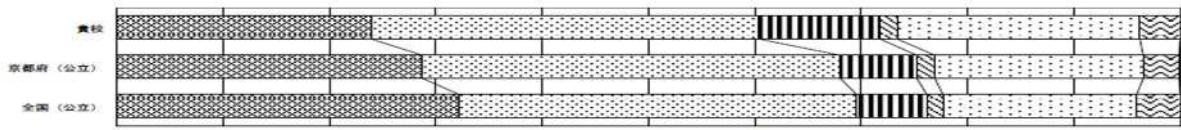


「あなたの家にはおよそどれくらい本がありますか」という質問に対し、「26～501冊以上」と答えた生徒の割合が全国平均より8.3ポイント高くなっています。生徒全体の73.9%にのぼっています。幼少期から教育環境を整えておられるご家庭の多さが伺われ、学校においても落ち着いて前向きに学習できる素地となっていると思われます。

生徒質問紙から④

質問番号	質問事項										
(4)	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	23.9	36.4	11.4	1.6	22.8	3.8				0.0	0.0
京都府（公立）	28.8	39.3	7.2	1.7	19.6	3.4				0.0	0.1
全国（公立）	32.2	37.3	6.6	1.5	18.2	4.1				0.0	0.0

□1. きちんと守っている
□2. だいたい守っている
□3. あまり守っていない
□4. 守っていない
□5. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない
□6. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない
□その他
□無回答

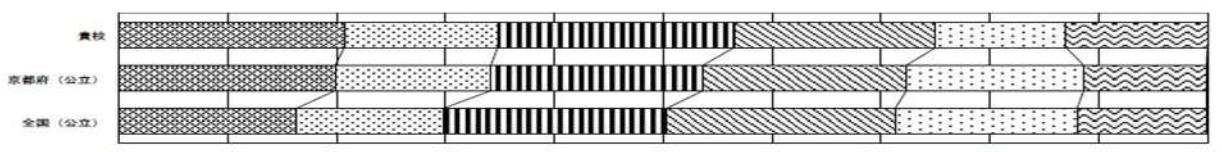


「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」という質問に対し「あまり守っていない」「守っていない」「約束はない」と答える生徒の割合が全国平均より9.0ポイント高く、生徒の3人に1人以上にのぼっています。

生徒質問紙から⑤

質問番号	質問事項										
(5)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	20.7	14.1	21.7	18.5	12.0	13.0				0.0	0.0
京都府（公立）	19.9	14.3	19.5	18.7	16.3	11.3				0.0	0.1
全国（公立）	16.3	13.5	20.5	21.0	16.7	11.9				0.0	0.1

□1. 4時間以上
□2. 3時間以上、4時間より少ない
□3. 2時間以上、3時間より少ない
□4. 1時間以上、2時間より少ない
□5. 1時間より少ない
□6. 全くしない
□その他
□無回答

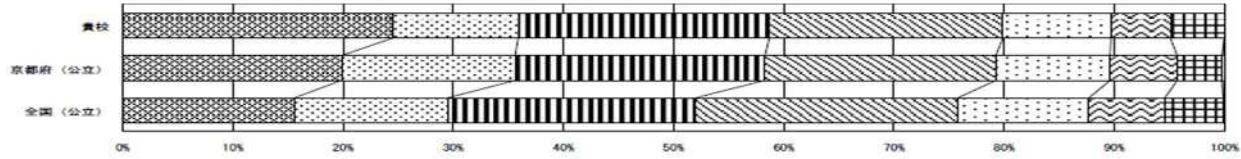


「普段、1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか」という質問に対し、「3時間以上」と答えた生徒が全国平均より5.0ポイント高くなっています。生徒全体の34.8%にのぼっています。

生徒質問紙から⑥

質問番号	質問事項										
(6)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	24.5	11.4	22.8	21.2	9.8	5.4	4.9			0.0	0.0
京都府（公立）	19.9	15.8	22.7	21.0	10.4	6.1	4.1			0.0	0.2
全国（公立）	15.6	13.9	22.5	23.8	11.9	6.9	5.3			0.0	0.1

1. 4時間以上
 2. 3時間以上、4時間より少ない
 3. 2時間以上、3時間より少ない
 4. 1時間以上、2時間より少ない
 5. 30分以上、1時間より少ない
 6. 30分より少ない
 7. 携帯電話やスマートフォンを持っていない
 その他
 無回答

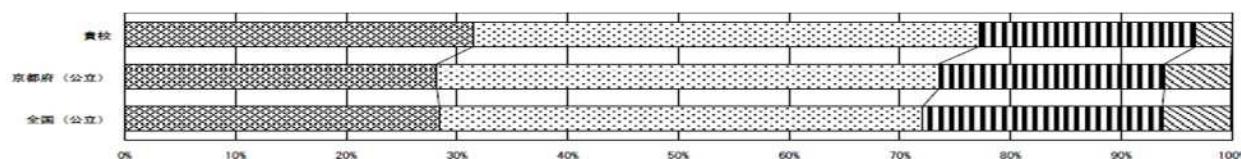


「普段、1日当たりどれくらいの時間スマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか」という質問に対し、「3時間以上」と答えた生徒が全国平均より6.4ポイント高くなっています。生徒全体の35.9%にのぼっています。とりわけ、「4時間以上」と答えた生徒は全国平均より8.9ポイント高く、非常に長い時間を費やしている現状が見受けられます。また、普段の読書時間が30分以下の生徒は全国より10.6ポイント高く、全くしない生徒も44.6%にのぼることや質問(4)の結果から、スマートフォンの使用時間等の家庭での約束をきっちり守ることで、読書や学習等の時間を生み出せると考えられます。

生徒質問紙から⑦

質問番号	質問事項										
(45)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	31.5	45.7	19.6	3.3						0.0	0.0
京都府（公立）	28.2	45.3	20.4	6.0						0.0	0.1
全国（公立）	28.4	43.7	21.6	6.2						0.0	0.1

1. 当てはまる
 2. どちらかといえば、当てはまる
 3. どちらかといえば、当てはまらない
 4. 当てはまらない
 その他
 無回答

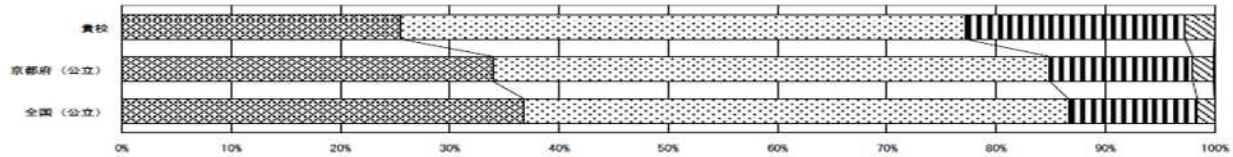


「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」という質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と答える生徒の割合が全国平均より5.1ポイント高くなっています。ただし、「資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表」してきた生徒の割合は全国より7.3ポイント低く、今後に向けての課題が見られます。また、発表にむけてICTも十分に活用がなされているという結果がでています。ただし、「ICTが学習の役に立っている」と考えている生徒は少し少ない状況です。こちらは昨年度までの結果ですので、今年度は家庭でのDD学習等も行っておりますので、少しは改善が見込めるかもしれません。さらに活用方法について研鑽や工夫が必要だといえます。

生徒質問紙から⑧

質問番号	質問事項										
(10)	自分でやると決めたことは、やり遂げるようになりますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	25.5	51.6	20.1	2.7						0.0	0.0
京都府（公立）	34.0	51.0	13.1	1.9						0.0	0.1
全国（公立）	36.8	49.8	11.8	1.6						0.0	0.0

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答

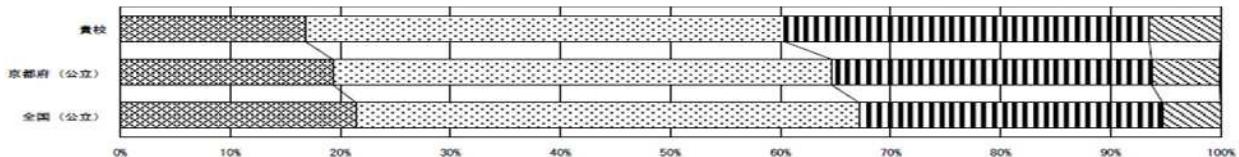


「自分でやると決めたことは、やり遂げるようになりますか」という質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合が全国平均より9.5ポイント低くなっています。これは社会に出たときに必要な力であり、自己肯定感にもつながりますので、このような経験を学校や家庭でさらにサポートしていきたいものです。

生徒質問紙から⑨

質問番号	質問事項										
(11)	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	16.8	43.5	33.2	6.5						0.0	0.0
京都府（公立）	19.3	45.3	29.1	6.2						0.0	0.1
全国（公立）	21.4	45.7	27.6	5.3						0.0	0.0

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答

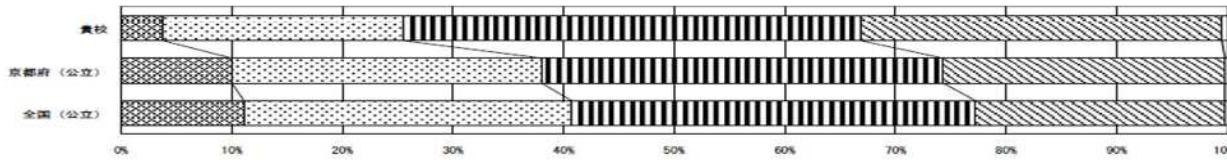


「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。」という質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合が全国平均より6.8ポイント低くなっています。これは自分のキャパシティをひろげ、前向きに生きることにつながる資質です。様々な経験を通して失敗は成功への必須の過程であることを学び、成長につなげてほしいと思います。

生徒質問紙から⑩

質問番号	質問事項										
(30)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	3.8	21.7	41.3	32.6						0.0	0.5
京都府（公立）	10.0	28.0	36.3	25.5						0.0	0.2
全国（公立）	11.1	29.6	36.5	22.6						0.0	0.2

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」という質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合が全国平均より15.2ポイント低くなっています。また、「地域の行事に参加する」と答えた生徒が12.3ポイント低く、「地域の大人にスポーツなどを教えてもらった」と答えた生徒も6.5ポイント低くなっています。地域や社会をよくすることは、自分の幸せにもつながりますので、意識が高まるよう学校や家庭でも話題にあげていきたいものです。

上記以外にも生徒質問紙に見られるプラス面として、「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」、「授業では、課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいた」、「授業は自分に合った、教え方、教材、学習時間などになっていた」などが全国平均より高いポイントを示していました。

一方、マイナスのポイントを示している項目として、「人が困っているときは進んで助けている」、「自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある」、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」なども挙げられます。学校におきましては、全体を通して見えてきた成果は今後も伸ばしながら、課題を意識した教育活動を進めていきたいと考えております。

また、本日生徒個人票を返却しておりますのでお目通しいただき、成果と課題を明確にし、今後の学習に生かしていただきたいと思います。

今後ともご支援、ご協力の程よろしくお願ひいたします。